科目名 (Eng)	人文・社会科学演習B (Seminar on Humanities and Social Science B)								
担当教員	吉村 忠晴・川﨑 俊郎								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	一般科目 (コミ科)	3	後期	必修	1	30	一般	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-2). (E-1). (F-1). (F-3).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：2). 4). 6).								
授業の概要と方針	人文・社会科学演習Aに引き続き、ＧＩＳソフトウェア（ＡｒｃＧＩＳ）の基本的操作を習得する。また、人文・社会科学演習Aで作成した統計地図・統計グラフについてのレポートを作成する。さらに、レポートをもとにプレゼンテーションを作成し、口頭発表とそれについての質疑応答を行う。								
到達目標	①ＧＩＳソフトウェアの基本的な操作ができる。 ②配布プリント・使用データ・作成ファイルを管理することができる。 ③ＧＩＳソフトウェアを活用して各自で課題を完成させることができる。 ④統計地図・グラフの読解・考察についてのレポートを作成することができる。 ⑤レポートをもとにプレゼンテーションを作成し、口頭発表ができる。 ⑥口頭発表において質疑応答ができる。								

授業計画

	週	授業項目	理解すべき内容	事前学習
後期	16	総合演習(6)	レポートの作成	①次回の授業までに前回の授業の授業報告書を作成する ②次回の授業までに作成したファイルを記録し、ファイルのバックアップをとる
	17	主題図の作成(1)	位置情報の入手、位置情報データベースの作成	
	18	主題図の作成(2)	アドレス・マッチング	
	19	主題図の作成(3)	オンラインマップサービスの利用	
	20	主題図の作成(4)	ポイント・フィーチャの作成	
	21	主題図の作成(5)	画像データのハイパーリンク	
	22	課題演習(3)	主題図作成の課題	
	23	空間解析(1)	空間解析用データベースの作成、属性検索	
	24	空間解析(2)	ジオプロセッシング	
	25	空間解析(3)	Spatial Analystの利用	
	26	総合演習(7)	プレゼンテーションの作成	
	27	総合演習(8)	プレゼンテーションの修正、口頭発表の仕方	
	28	総合演習(9)	口頭発表、質疑応答	
	29	総合演習(10)	口頭発表、質疑応答、総合演習の反省	
	30	まとめと反省	提出物の修正と完成	

試験について	定期試験は実施しない。
評価方法	授業報告書、配布プリント・使用データ・作成ファイルの管理状況、課題、レポート、口頭発表の成績を総合的に評価する。
教科書	配布プリントを使用する。
参考書	事例で学ぶＧＩＳと地域分析－ＡｒｃＧＩＳを用いて－、高橋重雄・井上　孝・三條和博・高橋朋一編、古今書院 図解ＡｒｃＧＩＳ　Ｐａｒｔ２－ＧＩＳ実践に向けてのステップアップ－、川崎昭如・佐土原　聡、古今書院
関連科目	社会科学調査法、人文・社会科学演習A
履修上の注意	Windows、Excel、Word、PowerPointの基本的操作を身につけておくこと。配布プリント・使用データ・作成ファイルは各自で管理すること。ＧＩＳの操作では、注意事項を遵守し、資料に記されている手順を確認しながら行うこと。常にＰＤＣＡサイクルを実践し、問題点を改善していくこと。課題は、指定された様式に則って、期限厳守で提出すること。正当な理由もなく遅刻・欠課した者には厳しく対処する。